

授業科目名	SLP (Student Leadership Program) 実践編 I (前期)	開講年次	1年次に「SLP(導入編)」を受講した2・3年次生
サブタイトル	アクティブで協働的な学びでリーダーシップを養う	担当者	日高 学
講義概要	<p>【概要】 少数のグループで、2種類の協働で行う体験・実践プログラムの中で、リーダーシップに必要な論理的思考力、質問力、コミュニケーション能力、アウトプットする力等を段階的に養っていく。</p> <p>[2種類のプログラム]</p> <p>① 主に教員主導型の講義 → 演習でスキルを強化するプログラム ② 教員はファシリテーター的にかかわり、学生がチーム編成し、協働学習で自己変容していく環境づくりによるプログラム</p> <p>【到達目標】 リーダーシップを身につける。 課題発見能力と論理的思考力を高める。 協働の中で創造する力を身につける。 プレゼンテーションやポスターセッション等でアウトプットする力を身につける。 SA (Student Assistant) を務めることができるようになる。</p>		
履修条件	<p>① 学力特待生に課された特別なプログラムであることを認識し、率先して到達目標達成に努めること。 ② 原則的に、すべての回に出席すること。 ③ 遅刻欠席等は、事前申告すること。 ④ 4年次生で条件に合う者の履修も可とする。</p>		
教科書・参考書	<p>【教科書】 適宜、資料を提供する。 【参考書】 『学習設計マニュアル「おとな」になるためのインストラクショナルデザイン』北大路書房 ※ 購入の必要はない</p>		
授業内容	<p>履修学生と連携を図りながら、集中演習方式（不定期）に実施する</p> <p>1 「ペンギンらしさ」を課題に、他者と自己の違いを知る ※ Keynote、PowerPoint の基本操作に慣れる 2 個別プレゼンテーション＋常陸国風土記の記録による「違い」の気づきを協働で体験する 3 常陸国風土記行方郡による「違い」の気づきから「違い」の意味することを協働で探究する 4 「違い」が意味するものについてプレゼン＋日本昔話の定型から「ふつう」への疑いを経験する 5 日本昔話の定型からについてチームで会議、ディスカッションする 6 答えのない命題に接した時、私たちはどんな営みをするかを感じ得る 能面とドーナッツ</p> <p>* 実践編 I は、上記内容の講義、演習に加え、オープンキャンパス運営（1回の運営を2コマ分と計算）を持って15回の実施とする</p>		
その他	<p>※ この科目については、単位の認定を行わない。</p>		